

枚方談合損害賠償訴訟第2回口頭弁論 無責任な当時の市長と副市長の実態

9月16日午前10時30分 手段を取ればいいのではから枚方談合損害賠償訴訟の証人調べ、傍聴者70人程度のなかで始まりました。被告補助参加人の中司元市長（以下、元）の弁護士、刑事裁判での弁論をなぞったような質問でした。

原告弁護人（以下、原）は、大林組関係者とのメトロ口会談について「原、何しに行ったのか」との質問に、元「汚泥処理施設の有害物質の除去工事がかわって談合情報があったので、それを大林組関係者に確認するために、聞きに行った」、原「なぜ市長自らが行ったのか」との質問には、元「談合という重要な情報を聞くから自行った」「私は自分で動いて情報収集していた」などと答え、弁護士から「談合を防ぐためだったら大林に別に関わなくても必要ない」との質問に、原「具体的な企業名で

の質問に「情報交換とアドバイス・指導を仰げ」と指示を受け紹介された」と答えました。

元副市長は、情報交換・アドバイスを元市長から受けるように指示を受けたのに、平成15年4月に担当副市長になりながら、入札が行われた平成17年秋ころまで、元警察官と会い、具体的な企業名も出てくる談合情報を聞きながら、その事で何のアドバイスも指導も受けず、過こしてきた」と答えました。

とが明らかになりました。被告、原告の質問の後、最後に裁判長の「元警察官から大林組が強く受注意欲がある」といったのに、どう思ったのかの質問に、「深く考えていない」と答えました。また、「大林組に受注させよう」と疑問に思わなかったのか」と問いに、「思わなかった」と答えました。

最終弁論は、12月21日午前10時から1007号法廷です。多くの皆さんの傍聴をお願いします。

また、原告弁護士の質問に、元市長は「談合を防ぐ目的で、Y点導入の検討を指示しただけだ」と答えました。

「元警察官、元市議が大林組から金をもらっているのは談合によるのか」との質問に、元市長は「談合によってとは思っていない」と答えました。

傍聴した原告の市民からは「あんな無責任な人が市長だったなんて本当に情けない」と感想を述べていました。

元副市長への質問は、元警察官とのやり取りが中心でした。

元市長から平原をどのように紹介されたのかと

いのち・くらし第一 大阪から政治を変えよう

大阪府民大集合

10月4日(火)

18時開場 18時半開会

なんば府立体育館



梅田章二氏 大阪府知事選に出馬表明



梅田章二さんの略歴
大阪府生まれ。京大法学部卒。現在大阪中央法律事務所所属。大阪憲法会議幹事長・日本国際法律家協会関西支部支部長。

明るい民主大阪府政をつくる会（明るい会）は、大阪市長選とのダブル選が濃厚となっている府知事選で、弁護士の梅田章二氏（60）を候補者として擁立すると発表しました。

梅田氏は、3回目の挑戦となります。橋下知事と維新の会の独裁的なやり方は許せない。まともな大阪をつくるために府民の運動とともに頑張ると決意を表明しました。（写真）

府宮住宅の募集

申込み期間
9月26日（月）～10月8日（土）

申込み用紙は党市委員会事務所と市会議員団にあります。

おりがくち活動日記



協力いただいた要望書名
大阪府に届けました

昨年未から取り組んだ5つの要望書名を、15日大阪府に提出しました。

国保の広域化反対
や保険料引き下げ
子どもの医療助成の
中学校まで引き上げ

少人数学級の拡大
と学校警備員の配置
住宅リフォーム助
成制度の創設
ムダ
な大型公共事業への
税金投入やめよ、と
署名です。いずれも
府民のみなさんの切
実な願いです。実現
のためにみなさんと
ともにがんばります。